

とやま

県広報とやま

2001

8月号

各世帯配布版 No.386

富山県

特集 元気で心豊かな子どもの成長を応援します

クローズアップ 地域交通を考える



日本人女性として初めてバレーボールの国際審判員候補となった三見洋子さん(中央)。審判を務めた全日本バレーボール大会小学生大会県大会の優勝チームの子どもたちと一緒に。

新しい「すこやか子どもプラン」の骨子

I 子育てをみんなで支えていく社会づくり	子育てについての意識変革	子育てに喜びを感じる社会づくり、子どもが尊重される社会づくり
	男女共同参画による子育ての推進	家庭における男女共同参画の推進、性別役割分担意識の解消
	子育てを支えるシステムづくり	子育てに関する人材の育成、地域の子育て機能の向上、安心して子育てできるまちづくり
II 子どもを生み育てやすい環境づくり	家庭における子育て支援	子育て支援・相談体制の充実、子育て家庭への経済的支援、ひとり親家庭への支援
	仕事と子育ての両立支援	就職環境の整備、多様な保育サービスの拡充、放課後児童の健全育成
	母と子の健康づくりへの支援	安全な妊娠・出産のための対策、健やかに育てるための対策
III 子どもが健やかに育つ環境づくり	個性を尊重するゆとりある教育の推進	「生きる力」と「豊かな心」を育てる教育、個性と創造性を伸ばす教育、児童生徒の心と体の健康づくり、家庭の教育力の向上
	青少年健全育成の推進	青少年の非行防止、健全な社会環境づくり
	豊かな遊び・体験の充実	子どもの豊かな遊びの充実、多様な体験・交流活動の促進

平成13年度の県の主な子ども健全育成施策(幼児～高校生)

対象	主な施策	NEW	は新規事業	【 】は担当課
幼児	3歳親子体験モデル事業の実施【生涯学習課】	NEW		
	子育て学習の推進【生涯学習課】	NEW		
	家庭教育総合相談事業の実施【生涯学習課】	NEW		
	子育て支援センターの設置【児童家庭課】			
小学生	小学校低学年多人数学級支援講師の配置【教職員課】		NEW	
	放課後児童健全育成事業の実施【児童家庭課】			
	児童館・ミニ児童館の整備【児童家庭課】			
	子どもとやま県議会の開催【生涯学習課】			
	12歳立山夢登山の実施【生涯学習課】			
中学生	子ども県広報の発行【広報課】	NEW		
	社会に学ぶ14歳の挑戦事業の実施【指導課】			
高校生	高校生新世紀きらめき事業の実施【指導課】	NEW		

問合せ/児童家庭課 ☎076(444)3208 女性青少年課 ☎076(444)3136 教育委員会生涯学習室 ☎076(444)3434 教育委員会指導課 ☎076(444)3450



手作りのおもちゃで歓声をあげる子どもたち

幼 児 期

幼児期は、「三つ子の魂百まで」と言われるように、後の発達的基础となる大切な時期であり、教育の出発点です。一方、親は不規則な生活になりがちで、子育ての悩みや不安を抱く人も少なくありません。

3歳親子体験モデル事業

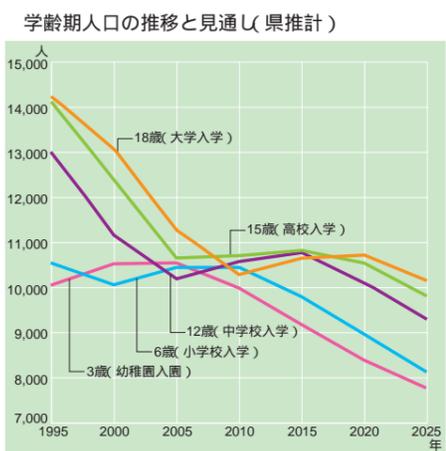
三歳児とその親が共同宿泊体験や自然体験、遊びなどを通して、子どもの感性をほぐむとともに、親子の連帯を深めます。

今年は六月の福野町を皮切りにスタート。同町の親子十四組が参加しました。一日目は、子どもはおもちゃ作りを楽しみ、親は日ごろの悩みなどを語り合いました。二日目は、親子でそり遊びなどを楽しみました。



元気で心豊かな子どもの成長を応援します

少年犯罪の低年齢化、いじめ、不登校…。いま、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しています。子どもたちが明るく元気に成長することは、県民すべての願いです。県では、新しい時代を切り拓き、21世紀の富山、日本を担う子どもたちが、豊かな心とたくましい身体をもち、健やかに成長するための施策に取り組んでいます。



深刻化する青少年による犯罪や非行

近年、少子化の進行や核家族化の進展、家庭や地域の子育て機能の低下、インターネットの普及等による有害情報のはらんなど、複数の要因が絡み合い、子どもたちの意識や行動に大きな影響を及ぼし、青少年による犯罪や非行等が全国的に深刻な問題となっています。

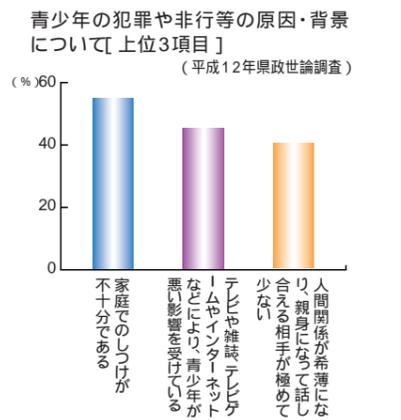
県内でも、平成十二年中に検挙補導された非行少年は、前年に比べ九十六人増加し、千六百二十一一人となっています。

昨年実施した県政世論調査の県政への要望でも、青少年の健全育成が前年の八位から四位に順位を上げると、子どもが健全に育つ社会が求められています。

このような中で、県では昨年、子ども施策を総合的に推進するため、各界の代表者や学識経験者等からなる富山県子ども政策県民会議を設けました。また、県民の皆さんの意見・提案を聞きながら、新しいすこやか子どもプランの策定作業を進めています(平成十三年度中に策定予定)。

子どもの成長段階に応じた施策に取り組んでいます

子どもが大人へと成長していく過程には、さまざまな精神的・身体的な節目があると言われます。県では、幼児期、小学生期、中学生期、高校生期に分けて考えており、家庭の教育力の向上や子どもへの健全育成を図るため、その一つひとつの節目に合ったきめ細かな施策に取り組んでいます。



小学生期

低学年期には、人間関係が学校や地域に広がりはじめ、独自の友人関係をつくるようになります。また、高学年期は活動的で積極的な意欲をもち、さらに大きく成長する時期ですが、依然として親への依存度は高いのが特徴です。

放課後児童健全育成事業

学校の空き教室や児童館などを活用し、児童に遊びと生活の場を与える放課後児童クラブを積極的に支援しています。

子どもとやま県議会と12歳立山夢登山

小学五・六年生の代表が一堂に会し、将来や郷土についての意見や提案を発表する子どもとやま県議会、子どもから大人へのターニングポイントといわれる12歳の節目に立山に登る12歳立山夢登山などを実施し、

子ども県広報の発行

県政の動きや郷土の魅力などを子どもたちに正しく理解してもらうため、今年三月に創刊しました。



高校生期

高校生期は、自立的傾向が強まるとともに、将来や進路のことを現実問題として考えるようになります。このため、自己表現力を高め、社会に貢献しようとする意識を身につける大切な時期といえます。

高校生新世紀きらめき事業

高校生のプレゼンテーション能力や創造性をはぐくむため、ディベート大会やロボット競技会、研究発表会などの学習活動を推進します。また、社会での心構えや職業意識を高めるため、生徒自らがマナー向上に取り組み運動や企業での現場実習、保育所・福祉施設での体験学習などを行います。

地域の声



放課後児童クラブで子どもたちをみる、児童厚生員の野村始子さんと田中かず代さん(福野町児童センター)

放課後になると、みんな元気に遊んでいます。たくさんの友達と遊ぶことで、人とのふれあいの大切さを感じてくれたらと思っています。一人ひとりの個性を大事にして、自由な発想を伸ばせるようにしてあげたいですね。



中学生期

子どもたちが多様な体験を通じて、大人になることの自覚を持てるように努めています。

第二反抗期に入る中学生期は、親や教師に対する批判的・拒否的な態度が目立つようになります。また、行動範囲が広がり、自分の思いをきちんと伝えるコミュニケーション能力や社会性が大きく伸展する時期でもあります。

社会に学ぶ14歳の挑戦

中学二年生が五日間、地域の事業所や福祉施設等でさまざまな活動に挑戦し、働くことの喜びや厳しさを感じ取りながら、社会の一員としての自覚を高めます。



「思っていたより重労働です。でも裏方の仕事はとても勉強になります」と商品を見栄え良く並べる(上)。指導の方に教わりながらプレス機の調整をする生徒。「小さいときからやってみたい仕事だったんです」と意欲的(左)

介護体験に参加した生徒の感想

服の着せ替え一つとっても思うようにいかなくて…。介護は見た目よりも大変だと思いました。お年寄りの喜ぶ顔を見ると、自分もうれしくなってきました。普段、自分のおじいちゃんとはあまり話していないので、これを機会に、家に帰ったらゆっくりと話したいと思えます。



ボウリングや輪投げなどを一緒に楽しむ入所者と生徒たち。「いつもよりみんなの目がいきいきとするので、こういう機会はとてうれしい」と職員の方。

社会全体が協力して、地域ぐるみで子どもの成長を支える

子どもが健やかに成長するためには、学校だけでなく、家庭や地域など社会全体が力を合わせて取り組んでいくことが大切です。

県ではこれからも、さまざまな体験を通じて、子どもたちが困難に耐えるたくましい身体、思いやりのある豊かな心、創造性あふれる優れた知性を身につけることができるよう、学校や地域などと連携しながら、子どもの成長段階に応じた施策に取り組んでいきます。皆さんもぜひ、子どもにとって今何が必要なのか、何ができるのか考えてみてください。

生徒を受け入れた事業者の声

学校とは違う社会の厳しさを体感してもらいたいと思っています。いろんな仕事を体験して、将来の夢を膨らましてほしいですね。頑張る若い子を見てみると、こっちの方が教えられることも多いです。今の子は結構しっかりしていますね。干渉せずに、ある程度自主性に任せたい方がいいのかもしれない。接客の基本的なマナーとして、まず大きな声でのあいさつを身に付けてもらえよう努めています。

とやま県民家庭の日
【とやまふれあいセンター】
県では、毎月第三日曜を「とやま県民家庭の日」とやまふれあいセンターとして、明るく楽しい家庭づくりを推進しています。皆さんもぜひ家族みんなで楽しく過ごしたり、各家庭で意義のある、わが家の家庭の「ファミリーデー」を設けるなど、家族のふれあいを大切にしよう努めましょう。

「子どもゆめ基金」助成金の募集

子どもの体験活動や読書会活動など、営利を目的としない事業を行う団体に対し助成金が交付されます。

対象団体/社団法人・財団法人、特定非営利活動法人、民間企業、実行委員会組織等

助成金額/数万円～三〇〇万円(事業規模等による)

募集締切/八月三十一日(金)必着
問合せ/国立オリンピック記念青少年総合センター 基金部助成課

TEL 02(5790)8118
URL http://www.nyc.go.jp

県窓口/教育委員会生涯学習室

特集についての問合せ・ご意見は
県児童家庭課、女性青少年課、教育委員会生涯学習室、同指導課まで
(連絡先は2ページにあります)

子育てに関する情報や相談はこちらまで

子育てネッ!とやま(子育て情報バンク)

子育てワンポイントアドバイスなど、子育てや家庭教育に関する情報を、インターネットを通じて提供しています。電子メールでの相談もできます。

URL: http://www.ccare.shiminjuku.com
Eメールアドレス
子育て相談窓口 c-care@pref.toyama.jp
ご意見・情報窓口 johobank@pref.toyama.jp

子育てほっとライン

24時間対応の家庭教育電話相談です。子育ての不安や悩みなどに専門家が対応しますので、気軽に相談してください。

TEL・FAX 076(433)4150
月～金:午前10時～午後11時、
土:午後5時～11時
上記以外の時間は留守番電話、FAXで対応

子ども(小学生から18歳程度まで)の悩みや質問などの相談に応じます。

子どもほっとライン

相談員さんからの一言
寄せられる相談は、友人関係の悩みについてのものが多くです。電話やメールでおしゃべりすることで、少しでも「ほっと」してくれたらなあという気持ちで子どもの心の声に耳を傾けています。深刻な悩みでなくても、勉強や身近なことについての質問など、皆さん気軽に電話してくださいね。



TEL・FAX 076(443)0001
Eメール kodomohi@tam.ne.jp
月～土:午後5時～10時
上記以外の時間は留守番電話、FAXで対応

地域交通を考える

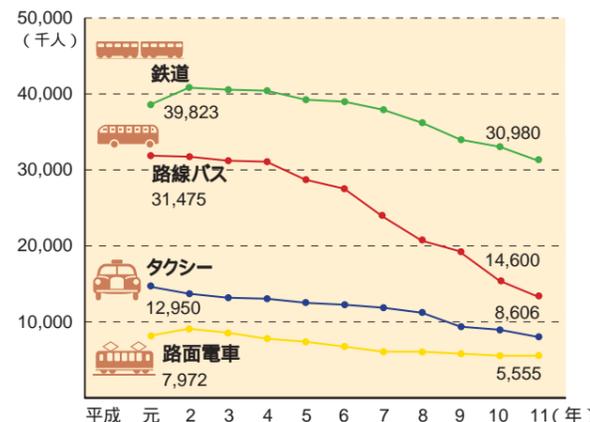
本県は、道路整備率が全国トップで、マイカーが便利で利用しやすいことから、一世帯当たりのマイカー保有台数は全国1位となっています。

しかし、マイカーの普及により、交通渋滞、交通事故の増加や高齢者の交通手段の確保、さらには地球環境への影響など様々な問題が生じてきており、これらを解決する手段として、バスや鉄道・軌道などの公共交通の利用が注目されています。



高岡市と新湊市を結ぶ万葉線

富山県の公共交通の利用者の推移



スロープ付きノンステップバス

公共交通活性化の取り組み

公共交通の利用促進のため、県、市町村、交通事業者などが連携して、利便性や安全性の向上を図る様々な取り組みを実施しています。

すべての人にやさしいバスやタクシーの導入

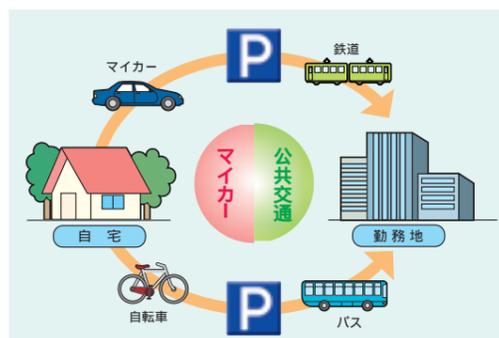
高齢者や障害者をはじめ、すべての人が乗り降りしやすいノンステップバスやスロープ付きバス、回転シート付きタクシーの導入を進めています。

バスの利便性の向上

利用者が傘をさしたままバスを待つような状況を解消し、快適に待つことができるバス停留所のシェア



(上)回転シート付きタクシー
(中)バス停留所シェルター
(下)富山駅エスカレーター



パークアンドライドとは、マイカーで直接目的地まで行くのではなく、郊外の駅やバス停まで行き、そこに駐車して公共交通に乗り換えて目的地まで行くシステムです。

パークアンドライドの促進

鉄道駅周辺の駐車場整備を実施するとともに、パークアンドライドの推進を図るための啓発に取り組んでいます。

ルターの整備を進めるとともに、バスの現在地を伝えるバス接近表示システムの導入を進めています。

公共交通の現状

現在の公共交通を取り巻く環境はマイカーの普及や少子化の進行などにより利用者が年々減少しており、大変厳しい状況にあります。

また、運輸事業の規制緩和により、事業の参入、退出が自由化されることから、今後、バスの赤字路線の廃止が増加することが懸念されます。

公共交通の必要性

環境問題への対応

交通運輸部門からの排気ガスは、我が国の二酸化炭素排出量の約二割を占めており、年々増加傾向にあります。また、その半分以上がマイカーから排出されており、地球温暖化防止の観点からその抑制が必要とされています。

自らの健康を守る

マイカーへの過度の依存は、人の健康に欠くことのできない「運動」を奪うこととなります。例えばマイカー利用からバスや鉄道などの公共交通による移動に変えることで、バス停や駅までの歩行など、健康に必要な「運動」を確保することにつながります。

鉄道駅のバリアフリー化

高齢者や障害者をはじめ、すべての人が公共交通を使って移動しやすくするため、鉄道駅のエレベーターやエスカレーターの整備に取り組んでいます。

コミュニティバスの導入

市街地の賑わいを創出するため、多くの市町村において、買い物客をはじめとした利用者の足となる市街地循環型コミュニティバスの運行が進められています。

生活路線の維持確保

生活の足として必要な路線に対し、欠損補助を行うなどして路線の維持確保に努めています。なお、高岡市と新湊市を結ぶ万葉線については、今年の四月に第三セクター方式で万葉線株式会社が設立され、今後市民の電車として、生活の足の確保やまちづくりに寄与することが期待されています。

高齢社会への対応

富山県の総人口に占める老年人口の割合(高齢化率)は全国平均を上回る早さで進行しており、約十年後には県民の四人に一人が高齢者という状況が予想されます。

このため、高齢者が安心して外出できるように、便利で使いやすい公共交通を確保していくことが必要です。

交通弱者の足の確保

車を運転できない人や児童、生徒などの通勤・通学の足として、公共交通が不可欠です。

交通渋滞の緩和、交通安全への対応

運転免許や自動車を持つ人が増え、交通渋滞や交通事故が増加しています。特に、交通事故の死亡者に占める高齢者の割合が非常に高く、高齢者が安心して利用できる公共交通の確保が望まれます。

中心市街地の空洞化への対応

マイカー利用の増加に伴い、大規模商業施設の郊外への流出が進む一方、中心市街地では商店街の衰退や買い物客等の減少が生じるなど、空洞化が進んでいます。



富山市の市街地を循環する、コミュニティバス「まいどはや」

ノーマイカーデー

電車やバスであなたの街を再発見

マイカーは便利な交通手段であり、多くの県民に利用されていますが、反面、様々な問題が生じています。高齢社会や環境問題などに対応した地域社会を形成するためには、マイカーと公共交通とのバランスの取れた地域交通体系の整備に加え、県民の皆さんのマイカーに依存したライフスタイルから公共交通を気軽に利用するライフスタイルへの転換が望まれます。

子どもたちの未来と地球の未来のために、人と環境にやさしく、まちに賑わいをもたらす公共交通の利用に努めていきましょう。

問合せ・ご意見は、

県庁交通政策課まで

☎076(444)3123

夢のステップを昇り続け、 いつか必ず五輪でジャッジ。



日本人女性初の国際バレーボール連盟
公認国際審判員候補となった

さん み よう こ
三見 洋子さん

1963年生まれ 宇奈月町在住

三見洋子さんは、この春に国際バレーボール連盟の国際審判員テストを受けて見事合格。日本人女性として初めて国際審判員候補となった。平成9年に日本バレーボール協会公認A級審判員に合格したのも、三見さんが女性第一号。試合を決める厳正なジャッジが求められる厳しい世界で、女性審判員としてパイオニアの道を歩み続けている。



一瞬の動きを的確に見極める。三見さんのジャッジは、監督や選手から信頼されている。

厳しい視線をバネに

「自分でも不思議なくらい緊張感がなく、リラックスしていました」

去る四月、ブルガリアで行われた国際審判員テストを振り返る三見さん。平成元年に日本バレーボール協会公認C級審判員に合格して以来、翌年にB級、九年に国内トップのA級に。女性のA級審判員は全国でも初めてということ。当初は選手やスタッフ、観客からの厳しい視線を感じたという。しかし、三見さんはそれを逆にバネにした。「女性だからできないと言われるのは、やっぱり悔しいですから」

全国各地の試合で積極的に顔を売ることから始め、Vリーグ男子チームの合宿に参加して腕を磨いた。その判定ぶりは、Vリーグの監督からも高い評価を得るまでになった。

子どもたちが切らせてくれた 新しいスタート

三見さんとバレーボールの出会いが中学時代。アタッカーとして全国大会にまで出場した。しかし高校では高いレベルを求める三見さんと部の方針の違いから半年で退部。「もうバレーには戻らない」と決意するほどの挫折感を味わった。

その三見さんが、再びバレーボールに携わるのは二十四歳のとき。地元のスポーツ少年団から「Tチを頼まれ、どこかに残してきたものがあつた」という思いから、「球拾いくらいなら」と引き受けた。

「いざ始めると、指導するのが楽しくて楽しくて。子どもたちが日々成長する姿に感動しましたね」

三見さんの毎日、「とんどんバレーボールが入り込んでいった」

そんなある日、練習試合で主審を買って出た三見さんは、判定で考え込んでしまい、反対に子どもたちから教えられるという体験をした。それが審判員を志すきっかけとなった

最高の選手が戦う舞台で、 毅然としたジャッジを

「選手として、挫折や苦しい体験があったから、審判員という新たなチャン

スを大切にしてやってこられたんだと思います」

国際審判員に認定されるには、これから国際大会七試合で主審を務め、すべてに「ベリーグッド」(百点満点中九十点以上)の評価を得なければならぬ。「英語が大変なんですよ」と言いながら、チャレンジしていく道程に「ファイト満々。その先にはオリンピックでの審判という夢も輝いている。」

「レベルが上がるほど、選手の方も知識が深くプレーも厳しい。迷いがあると信頼されません。だから、いつも毅然としたジャッジを心がけています」

三見さんが国際舞台にさっそうと立つ姿が見られるのも近い。



国際審判員テストでは筆記・実技・面接の各試験が行われる。ブルガリアの実技試験会場で、受講生たちと一緒に。(右から2人目が三見さん)

お聞かせください、あなたの声を

—知事への手紙—



県では、広く県民の皆さんの声をお聞きし、県政に反映させていきたいと考えています。県政について聞きたいことや県に考えてほしいことなど、何でも結構です。あなたの積極的なご意見やご提案をお待ちしています。

なお、お寄せいただいた内容については、本誌やその他の県の刊行物などに掲載させていただきます。（氏名などは掲載しません）

県政に対するご意見やご相談、苦情などはこちらまで

来訪・電話の場合

県民相談室 県庁(本館) 2階 ☎ 076(431)3131
 高岡地方県民相談室 高岡総合庁舎 1階 ☎ 0766(26)8400
 魚津地方県民相談室 魚津総合庁舎 1階 ☎ 0765(22)9100
 砺波地方県民相談室 砺波総合庁舎 1階 ☎ 0763(32)8100

FAXの場合

県民相談専用FAX 076(444)3300

Eメールの場合

koho@pref.toyama.jp

問合せ 県庁広報課

☎076(444)3133・3134

このほか、県庁や各地方県民相談室、市町村窓口などに「知事へのはがき」を備え付けていますので、どうぞご利用ください。

ご住所 〒		
お名前(フリガナ)		
年齢	性別	お電話 ()
歳	男・女	
ご職業		

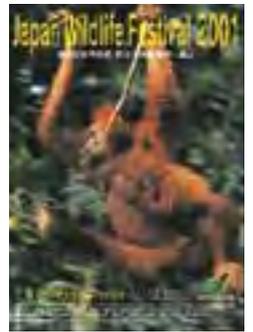
知事への手紙

ここに書いてください

INFORMATION

ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル 2001

入場無料



～ 第5回世界自然・野生生物映像祭 in 富山 ～

世界三大自然・野生生物映像祭の一つ、JWFが2年ぶりに富山で開催！世界トップレベルの自然や野生生物の映像が富山に集合します。素晴らしい大自然のドラマやひたむきな生命の営みを、ぜひ体験してください。

開催期間 / 8月23日(木)～26日(日)

上映時間 / 午前10時～午後5時(予定)

会場 / 富山市民プラザ(メイン会場)

高岡文化ホール(サテライト会場)

黒部市吉田科学館(サテライト会場)

自然、環境保護、共生などをテーマに、世界各国から応募のあった430点の中から最終ノミネートされた作品と招待作品を合わせた約35点を大画面で上映します。最終日には大賞ほか各賞が発表されます。日本語に吹き替えていますので、お子さまでも楽しめます。そのほか、羽仁進先生や千石正一先生によるセミナー、野生生物映像の制作者による撮影裏話を交えたトークショー、世界最古のドキュメンタリー映像や世界のアニメの上映、写真展、自然や環境保護などに関する体験型ワークショップなどの企画も盛りだくさんです。

主な上映作品

「イルカの野生の世界」 「ネコのシークレット・ライフ」 「鳥のすべて」 「暗闇のハンター」 「ブータン～最後の楽園～」 「グレートダンス～自然への折り」 「水を求めて～ナミビアの象～」 「沈黙の海～ジンベイザメの世界～」 「ユニコーンの復活」 「ワニの撮影日記」
詳細な上映時間は下記事務局までお問い合わせください。

ボランティアスタッフ募集

映像祭の運営を担うスタッフを募集しています。ご希望の方は下記事務局まで(高校生以上)

問合せ 〒930-0044

富山市中央通り2-5-6 プラスさんぽーる2階

NPO法人 地球映像ネットワーク富山事務所

☎076(495)7161

ホームページ: <http://www.naturechannel.org/>

Eメール: jwf@cd.inbox.ne.jp

料金受取人払

富山中央局
承認
609

差出有効期間
平成14年3月
31日まで
切手不要

(受取人)
富山市新総曲輪1の7
富山県経営企画部広報課気付

富山県知事
中 沖 豊 行

9 3 0 - 8 7 9 0

実線にそって切り取り、

中央の点線で、宛名面を外側にして二つに折ります。

のりしろにのりを付けて貼り合わせます。

切手を貼らずに投函してください。

近代美術館

富山市西中野町1-16-12
☎076(421)7111

第8回現代芸術祭
瀧口修造の造形的実験
【9/24(月・休)まで】
本県出身で国際的に知られた詩人・美術評論家、瀧口修造の多彩な業績の中から、造形作家としての同氏の世界を紹介しています。
一般 700円/高・大 500円/小・中 350円
常設展示もご覧になれます。



「私の心臓は時を呼びよせ」
1962年

9:30 ~ 17:00
☾月曜 8/13、9/3は開館 祝日の翌日(9/16は開館)
常設展示観覧料
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



水墨美術館

富山市五福777
☎076(431)3719

公募：墨画トリエンナーレ富山2001
【9/24(月・休)まで】
全国から公募した、墨で表現された作品の中から、入賞・入選作品計52点を展示しています。
一般 700円/高・大 500円/小・中 350円
常設展示もご覧になれます。



9:30 ~ 17:00(ただし、入室は16:30まで)
☾月曜 8/13、9/3、9/24は開館 祝日の翌日
常設展示観覧料(展示室以外は無料)
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



立山カルデラ砂防博物館

富山地方鉄道立山駅前
☎076(481)1100

企画展「雪 SNOW」
【9/24(月・休)まで】無料
白い芸術家、白いダム、白い悪魔。立山を舞台とした雪の神秘的な世界を紹介しています。

フィールドウォッチング「秋の弥陀ヶ原とカルデラ展望」
【9/30(日) 7:50 ~ 17:00】要申込 9/16まで
秋の弥陀ヶ原を自然観察し、松尾峠から立山カルデラを展望します。定員/50名(先着順)
参加費/2,500円(小学生は1,000円)

9:30 ~ 17:00(8/31まで8:30 ~) ☾月曜・祝日の翌日(8/26まで無休) 常設展示観覧料
一般 400円 高・大 320円 小・中 200円




中央植物園

婦中町上善田42
☎076(466)4187

「スイスアルプスの高山植物」
県立高校教諭で、高山植物研究家の佐藤藤氏が撮影した高山植物の写真約80点の展示と講演会を行います。

写真展
【8/17(金)~9/12(水) 9:00 ~ 17:00】
スライド講演会
【9/2(日) 13:00 ~ 15:00】
定員/70名(先着順) 無料
写真展は入園料が必要です。

9:00 ~ 17:00
☾木曜 一般 600円 小・中 300円




とやま健康パーク

富山市彦杉1-15-1
☎076(428)0809

夏休み親子フェスタ2001
【8/26(日)】
ソウルオリンピック水泳金メダリスト
鈴木大地氏の講演&スイミング・エクササイズ
講演【11:00 ~ 12:00】無料
スイミング・エクササイズ【14:00 ~ 15:00】
は健康スタジアム利用料が必要です。

☾月曜 8/13、9/24は開館 9/25(8/12は~22:00) 健康スタジアム10:00 ~ 22:00(日・祝は~19:00) 1日 1,800円/3時間 1,500円/2時間 1,000円 生命科学館(展示場) 9:30 ~ 17:00 200円 小・中学生は半額、幼児は無料です。




県民公園大間山ランド

小杉町黒河4774-16
☎076(56)9116

夏の夜間開園
【8/1(土)~19(日) 18:00 ~ 21:00】
展望塔、JETトレイン、駐車場が無料となります。夕涼みがてらお気軽にご来園ください。

ふれあい農園・収穫祭
【9/16(日) 10:00 ~ 13:00】
サツマイモなどの収穫を体験し、収穫した野菜を材料にしたパーベキューを楽しめます。
参加費 大人 1,000円/小学生以下 500円

9:00 ~ 17:00(夏期は~18:00) ☾火曜(8月は無休)
祝日の翌日 入園無料(駐車料金は別途必要)




高岡文化ホール

高岡市中央公園町13-11
☎076(25)4141

高岡ギャグ夏祭り2001
【8/12(日) 11:00 ~、15:00 ~】
東京、大阪のお笑い陣の中からよりすぐったメンバーが「笑いの渦」を巻き起こします。
出演/オール阪神・巨人、堺すむむ、ちゃらんぼらん 他
前売 3,000円(当日3,500円) 全席自由

第十五回記念 能楽鑑賞大会
【8/26(日) 9:00 ~、13:00 ~】
能の宝生流・観世流、狂言の和泉流の三流派が競演し、優美で幽玄な世界を繰り広げます。
指定 4,500円(当日5,000円)
自由 3,500円(当日4,000円)




こどもみらい館

小杉町黒河(大間山ランド内)
☎076(56)9000

ドグーの伝説 ~ 謎の魔法城 ~
【8/11(土)~19(日) 12:30 ~ 18:00】
物語の登場人物になって、いろいろなゲームやクイズに仲間と一緒にチャレンジし、謎の魔法使いと対決します。

造形発見広場「色」
【9/8(土)~30(日) 9:30 ~ 17:00】
「色」をテーマとした制作活動を通じ、不思議な世界が体験できます。
材料費 100 ~ 300円

9:30 ~ 17:00(夏期は~18:00) ☾火曜
第4水曜・祝日の翌日(8/14は開館) 入館無料




新川文化ホール

魚津市宮津1-10番地
☎076(23)1123

イタリア音楽の旅 - 團伊玖磨氏追悼公演
【8/18(土) 19:00 ~】
ヴェルディの歌劇を中心としたイタリア・オペラの数々を紹介するとともに、当初案内役の予定で、5月に急逝された團伊玖磨氏の合唱曲などを追悼演奏します。
S席 6,000円、A席 4,000円、B席 3,000円 全席指定
小杉町文化ホールでも同公演があります。

【8/19(日) 19:00 ~】
S席 6,000円、A席 4,000円、B席 3,000円 全席指定




教育文化会館

富山市舟橋北町7番1号
☎076(44)8635

宝くじ文化講演会「これからの日本」
講師/竹村健一
【9/14(金) 18:30 ~】
幅広い評論活動で知られる竹村氏が、日本の文化、社会、経済の展望について講演します。
入場料/無料(ただし、入場整理券が必要となります。)
定員/700名(先着順) 要申込
入場整理券の申込ハガキ配布場所/教育文化会館、県民会館、北日本新聞文化センター・レイガイド




県民共生センター

富山市湊入船町617
☎076(432)4500

サンフォルテ公開講座
「パパだからできる！」
【9/1(土) 13:30 ~ 15:30】
「らせん」ループ」などで知られる作家・鈴木光司氏が男性の育児参加やパートナーとのよりよい関係の築き方について講演します。
定員/200名 要申込 8/18(土)まで

9:00 ~ 21:00(日曜 ~ 17:00)
図書室 9:00 ~ 20:00(日曜 ~ 17:00)
☾月曜・祝日




利賀芸術公園

利賀村上百瀬43番地
☎076(68)028

利賀サマー・アーツ・プログラム2001
利賀演出家コンクール
国内戯曲部門【~8/12(日)】
海外戯曲部門【8/17(金)~25(土)】
全演目共通パス 2,000円

舞台公演
鈴木忠志演出「世界の果てからこんにちは」
【8/11(土) 25(土) 20:30 ~】
5,000円(全席自由) 要予約

第8回BeSeTo演劇祭 利賀
【8/25(土)~9/16(日)】






とやま 音のある 風景

Vol.35

絵本館の水琴窟と
ジャンピングウォーター
大島町

水が踊る、弾む、響く。
音色に心遊ばせて。

緑の芝から、突然水が飛び出す。生き物のように空中で踊ったかと思うと、力強い水が次々と出て、弧を描いて近くの池へ飛んでいく。

ピュッ、ピュッ、パチャ。ピュッ、ドボン。どこから出てくるかわからない水を、子どもたちは目を輝かせて追いかけ、歓声をあげる。

大島町絵本館の庭にあるジャンピングウォーターは、コンピュータで制御された水のパフォーマンズ。豊かな心と感性をばくむ絵本館の楽しい仕掛けのひとつである。小高い丘に建つ絵本館の庭は、「ユニークな、絵本ふれあいパーク」になっており、あちこちに不思議なものが点在する。

中腹にあるのは水琴窟。地中に埋めた瓶の中に水を落として、琴のような音の響きを楽しむ。

ピン、タン、トトン。水は小洞窟の中で反響し、さまざまな音階を奏でる。「聞こえる、聞こえる」。微かで透明な音色に、耳をそばだてる。

絵本館のふたつの音に、子どもたちは心を自由に遊ばせる。

県内五十箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。

県広報とやまの各世帯配布版(年3回)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版(年7回)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。

あて先

〒930-8501(住所不要)富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

とやまの情報お伝えします!【8月の県政番組】

タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00~11:30

12日 JWF 2001がやってくる!

26日 近代美術館開館20年

8月19日の放送はありません。

とやまDASH! 富山テレビ
フォーカス・イン 毎週日曜 9:00~9:30

12日 かき氷のある風景

19日 とやま冒険旅行

26日 夏バテ解消法

富山が元気。 チューリップテレビ
見たモン勝ち2 第4日曜 10:00~10:52

26日 立山に魅せられて

とやま県間録 FMとやま
毎週月曜~木曜 11:30~11:40
毎週土曜 11:30~11:55

このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。

新聞広報「県からのお知らせ」

8月4日・18日の朝刊各紙に掲載予定

富山県ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ

毎月第三日曜は「とやま県民家庭の日」ですが、その愛称は何でしょうか。

「とやま サンデー」

とお答えください。

答えは特集を読めばわかります

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と、本誌の感想を記載。

あて先/〒930-8501(住所不要)富山県庁広報課「県広報とやま8月号」クイズ係

締切/8月31日(金)(消印有効)

正解者の中から10名の方に、水墨美術館で開催中の「公募:墨画トリエンナーレ富山2001」の鑑賞券をペアでプレゼントします。

